

2015年8月25日

各 位

近江鉄道株式会社

高宮駅構内における車両火災の調査結果ならびに再発防止対策について

2015年4月17日、5時30分頃、当社高宮駅構内で発生した始発前の車両火災について、同日公表いたしました。その後、外部調査機関（公益財団法人 鉄道総合技術研究所）に依頼した調査の結果ならびに当社における再発防止策についてご報告いたします。

お客さまには大変ご迷惑をおかけいたしましたことをあらためて深くお詫び申し上げます。詳細は下記のとおりです。

記

1. 車両火災の概要

2015年4月17日、5時30分頃、運転士が始発前の車両点検をおこなうためパンタグラフを上昇させたところ、車両の連結部付近の屋根から火花が発生しているのを発見しました。

その状況を関係各所に連絡した後、再び車両を確認すると、車両の屋根が溶けて車内の天井板を貫通し、座席に落下して火災が発生していたため消火器を使用し消火にあたりました。

2. 車両火災の推定原因

公益財団法人 鉄道総合技術研究所による調査の結果、今回の車両火災は屋根上の電線の絶縁破壊が起これ、漏電が発生したこと。そして始発前でパンタグラフを下げるための圧縮空気がない状態にあり、漏電が5分間続いたため、その熱により車両の屋根が溶けだし車内の天井板を貫通し、座席に落下して火災が発生したものと推定されております。電線の絶縁破壊の原因は、電線を保護するための金属電線管内部に雨水が浸入したことなどが要因と考えられます。なお、落雷も原因の1つとして調査いたしました。因果関係はないものと断定されております。

3. 再発防止対策

- ・全車両を対象に屋根上高圧配線および配管の更新工事を実施し、防水性および絶縁性の向上をはかります。
- ・更新工事が完了するまでの間は、当該の電気回路の絶縁抵抗測定を、90日以内（法定による検査回帰）におこなっていたところを3日毎に実施しております。
- ・屋根上の配線・配管について目視による監視強化を実施しております。

以 上